

道徳学習指導案

指導者：(2-1渡邊・2-2森・2-3神田)

- 1 日時 令和3年11月5日(金) 5校時
- 2 学年・学級 第2学年 1組・2組・3組
- 3 主題名 B-(6) [思いやり, 感謝]
- 4 ねらい 『人間は多くの人々のさりげない善意や思いやりによって支えられて, 守られていることに気づき, それに感謝しようとする態度を育てる』
- 5 資料名 「夜のくだもの屋」(中学道徳『あすを生きる』日本文教出版)

6 主題設定の理由

<主題観>

本主題は、「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」に示された内容項目(B 思いやり, 感謝)の「思いやりの心をもって人と接するとともに, 家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し, 進んでそれに応え, 人間愛の精神を深めること。」に基づいて設定したものである。「思いやりの心」とは, 自分が他者に能動的に接するときに必要な心のあり方である。それは黙って見守るといった表に表れない場合もある。思いやりの心の根底には, 人間尊重の精神に基づく人間に対する深い理解と共感がなくてはならない。

指導に当たっては単に思いやりの大切さに気づかせるだけではなく, 自分も他者もともにかけがえのない存在であることをしっかりと自覚できるようにすることが大切である。そして, 思いやりや感謝の気持ちを言葉にして素直に伝えようとする心が, 自己と他者との心の絆をより強くするのだということに気付かせたい。

<生徒観>

人の意見を聞く力, 話す力が十分ではなく, 思ったり感じたりしたことを素直に表現することを周りの目を意識するあまり控えめに発言する傾向がある。心を開いて本音で話す仲間のつながりが弱い。普段から人の思いを真剣に受け止め, 思いを表現すること, 人の考えに素直に共感することが難しいので, テーマの内容を話し合いで深めることが十分ではない。

生徒の実態と教材の特質から, 自分に近い人への思いやりはできていても, くだもの屋と少女の関係のように知らない人に対しての思いやりについてはその実現は容易ではないからこそ, 道徳的価値の実現に向けて考える授業とする。また, くだもの屋の優しさや思いやりに対してすぐに感謝の気持ちを表現できている少女の素直さにも着目し, 考えさせたい。

<指導観>

2学年は特定の人としか話しができず, 見ず知らずの人に対しては思いやりをもって接することが難しい現状がある。本授業では, 普段何気なく見過ごしていることの中に思いがけない他者の温かい心遣いが込められていることを見つけるきっかけにしたい。

- ①対話的なグループ活動を通して, しっかりと相手の話を聞き, 意見を交換しながら自分の考えを深めることができるようにする。その中でお互いの話を聞き合える環境を作り, 共感的人間関係の形成に努める。
- ②登場人物の行動や気持ちと普段の自分の行動を対比させることで, 誰に対しても平等に思いやりを持って接することの大切さを考え, 主題に迫りたい。

7 準備物

教科書 中学道徳「あすを生きる」、ワークシート

8 学習指導過程

学習指導過程 範読時間：約9分		導入 展開 終末	
学習活動		指導上の留意点【発問の意図】	
導入分	1 発問 『人から親切にされたことがありますか』 具体的なエピソードを、事前アンケートを元に振り返る。 予想される発言 ・筆記用具を貸してくれた。 ・怪我した時に荷物を持ってくれた。 ・困っているときに手を貸してくれた。		○過去に受けた思いやりや、思いやった経験を思い出すことで、教材の導入とする。
展開分	2 資料の範読：約9分 発問 『くだもの屋のあかりを見たときの少女はどんな気持ちだっただろう』 予想される発言 ・明るくてよかった。 ・ほっとした。 ・安心して帰れる。 ・ 中心発問 『「この店のあかりがあんなにあたたかくみえたのは当然」だと思ったのは何故だろう』 補助発問 合唱練習の帰りにみた店の光で心が落ち着くのと同じだろうか？ 予想される発言 ・くだもの屋さんの優しさに気がつけたから。 ・自分のためにしてくれていたものだったから。 発問 自分たちは同じことができるだろうか。 予想される発言 ・恥ずかしくてできない。 ・勇気がない。 ・人に声をかけるのが怖い。		○暗い夜道でのあたたかい明かりが、少女にはほっとするものであったことを捉えさせる。そして、このあかりに毎日守られていたことも押さえておく。 ○くだもの屋のあかりの本当の理由を知ったときの少女の気持ちを考えさせる。 問い返し くだもの屋さんは何のためにしていただろうか。少女に気付かれたかったのか。 ○代償を求めない思いやりであることに気付かせる。 ○登場人物と自分の行動を比較し、普段の自分を見つめ直させる。
終末分	3 まとめ・振り返り 人の思いやりに気付くには何が大切だろう		○くだもの屋の優しさや思いやりを少女がどのように受け止めたかを考えさせ、感謝の気持ちへとつなげる。

板書計画

思いやり・感謝
夜のくだもの屋

○人から親切にされたことがありますか。

・筆記用具を貸してくれた。

・怪我をしたときに手を貸してくれた。

○くだもの屋のあかりを見て

・明るくてよかった。

・安心して帰れる。

☆「この店のあかりがあんなにあたたかくみえたのは当然」だと思っただのは何故だろう

合唱練習の帰りにみた店の光で心が落ち着くのと同じだろうか？

○自分は同じことが出来るだろうか。

・恥ずかしくてできない。

・勇気がない。

○思いやりやに気付くには